

## コーヒーに続く日本とエチオピアの関係を目指して

### エチオピアで日本式アパレル検品・品質管理技術導入

国際協力機構(JICA)は1月26日、「中小企業海外展開支援事業～基礎調査～」において株式会社ティーズネットワーク(東京都渋谷区、柴原敏宏代表取締役社長)が提案する「アパレル企業等の生産拠点化及び繊維・皮革産業の為の品質管理・検品事業に係る調査」(エチオピア)を採択しました。

エチオピアは、過去10年平均10%を超す経済成長を記録し、アフリカにおける軽工業のリーダーとなることを掲げ、国を挙げて工業団地の整備、海外製造業の誘致を積極的に実施しています。特に、繊維・皮革産業は海外投資が伸びており新たな生産拠点国として世界のアパレル業界の注目を浴びていますが、日系アパレル企業の進出はこれからと言われています。

株式会社ティーズネットワークは、ASEANにおける経験をもとに、アパレル検品・品質管理をエチオピアに導入し、日系アパレル企業が求める生産拠点化と繊維・皮革製品の品質の向上を目指すと共に、若年層や女性の雇用創出と技術移転を通じて、同国への貢献を目指します。



(写真)カンボジア縫製工場での検品の様子(参考)

本調査は、我が国の中小企業を対象とした「基礎調査」として実施されます。本スキームは、優れた製品や技術力を有する中小企業が途上国に進出することによる開発課題解決の可能性及びODA事業との連携可能性を検討するためのもので、検討に必要な基礎情報の収集と海外展開事業計画の策定を目的としています。2016年度第2回は昨年9月に公示を行い、14件が採択されました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)基礎調査2016年度第2回公示の採択結果について

URL:<https://www.jica.go.jp/announce/notice/fs/index.html>

#### 【本件に関する問い合わせ先】

JICA 国内事業部中小企業支援調査課 高林(案件担当)、橋本(広報担当)

TEL 03-5226-9283 e-mail : pdtfs@jica.go.jp